

資料1

広島県の実施について

【防災教育（小学校）】

- ・ 防災シミュレーションゲーム等で前向きに防災へ取り組めるよう「ひろしま防災出前講座」を展開
- ・ 学習内容を深め、子供達が主体的に適切な避難行動を実践する力を養うため、今年度から新たな教材を展開



【防災教育（中学校）】

- ・ 小学校での取組を切れ目なくつなげるため、デジタル防災教材「ひろしま大雨防災eラーニング」を展開
- ・ 今年度、地震・津波に係る新教材を制作予定



【LINE版マイ・タイムライン「わが家の避難計画」】

- ・ 県公式LINEに、マイ・タイムライン作成機能を整備
- ・ 友だち追加と簡単3ステップで設定完了
- ・ 家族との共有、代理作成機能あり
- ・ 危険が迫った時にLINEでお知らせ
- ・ 地域の防災情報をひと目で確認
- ・ 令和7年4月から地震・津波に係る通知機能を追加

広島県HP
「わが家の避難計画」
(マイ・タイムライン)



【LINE版マイ・タイムライン「わが家の避難計画」】

設定は簡単3ステップ

避難計画を作る（自宅用）

各質問に回答することで、避難計画が自動で作成されます。以下の質問に回答してください。

質問1 自宅の住所

自宅の住所を入力してください。

※番地まで必ず入力してください。

※町名以降は数字で入力してください。

例）1丁目2番3号、1-2-3、1-2-3

住所

広島県広島市南区松原町2番37号

次へ

土砂災害警戒区域

土砂災害
洪水
高潮
津波

自宅位置を確定

避難計画を作る（自宅用）

各質問に回答することで、避難計画が自動で作成されます。以下の質問に回答してください。

質問2 避難に時間のかかる家族の確認

家族の中に、高齢者、乳幼児、妊婦、障がい者など、避難に時間がかかる人はいますか。当てはまるものを選択してください。

☐ います

☒ いません

次へ

避難計画を作る（自宅用）

以下の内容で作成してよろしいですか。

住所
・広島県広島市南区松原町2番37号

お住まいの地区
・荒神町小学校区

自宅の災害リスク

・土砂災害	なし
・洪水	あり
・高潮	あり
・津波	あり

避難場所

・土砂災害	大須賀集会所
・洪水	大須賀集会所
・高潮	段原小学校
・津波	比治山公園
・地震	段原小学校

この内容で避難計画を作る

1 住所入力

2 地図で確認

3 設問に答える

設定完了



お住まいの地域の
避難情報を
避難のタイミングで
お届けします。

地震・津波の情報を
お届けして
今すべき行動を
お知らせします。

【備えるフェア（6月、1月）】

- ・ 県内のスーパーやホームセンターなどの協力を得て、各店舗で防災グッズ等を紹介するフェアを開催（156団体、2,807店舗が参加）
- ・ 今年度、三原市と連携し、様々な広報により行政、企業が一体となった地域ぐるみのきめ細かな取組を展開



【防災教室の開催】

- ・ フェアに合わせて、参加店舗内で「みんなで減災」推進大使による防災教室を開催



【啓発ポスター】

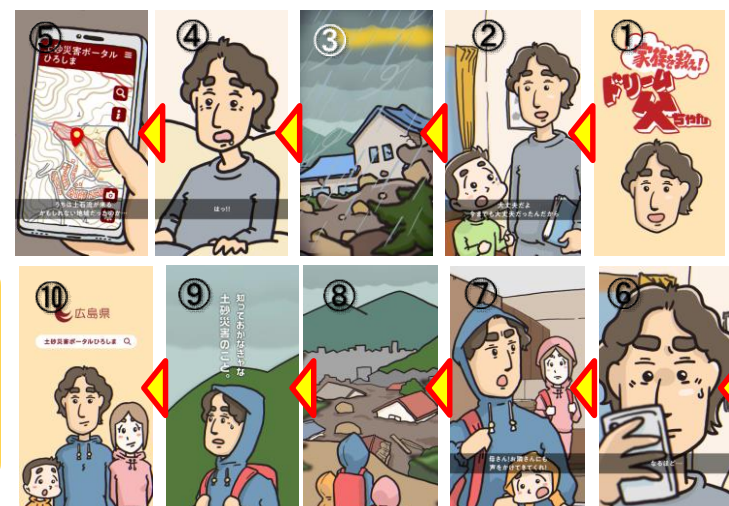
- リスク情報を「確認する」行動を県民に起こしてもらうため、新たなポスターを制作し、公共機関等へ配布



【新作ショート「家族を救え！ドリーム父ちゃん」】

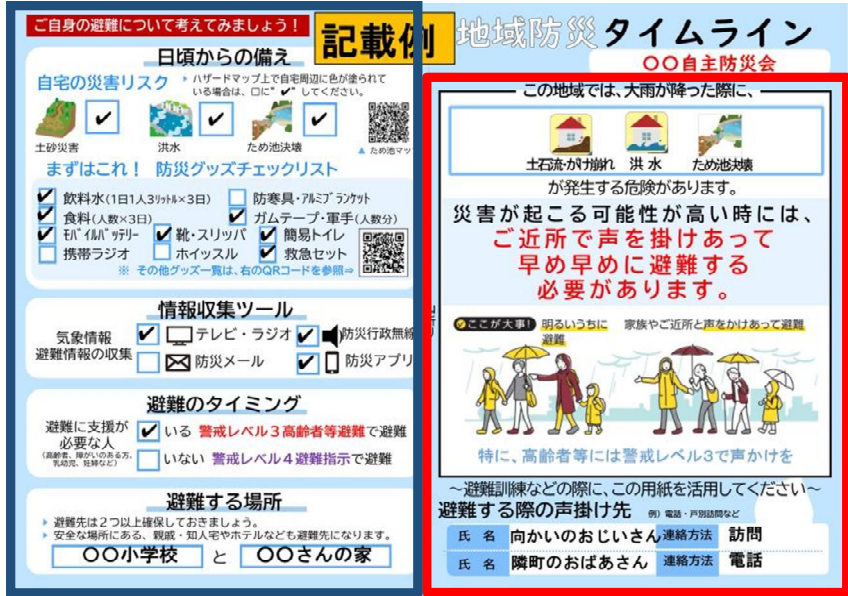
- youtubeのショートアニメーションにより、土砂災害リスク情報の認知の重要性をPR (令和6年12月公開)

youtube
県公式チャンネル
「家族を救え！
ドリーム父ちゃん」



【地域の防災活動におけるマイ・タイムライン】

- 地域全体で、適切な避難行動を実践して頂けるよう、「地域防災タイムライン」の取組を推進
- 災害時の地域住民相互での声掛けと個人の避難行動(マイ・タイムラインの作成)を一体的に展開
- 市町や防災リーダーと連携し、自主防災組織等が実施する地域の防災訓練などの場で、地域防災タイムラインの作成講座を実施
- 今年度から自主防災組織の避難訓練等で、新たに導入した災害VR動画を活用



ご自身の避難について考えてみましょう！

記載例 地域防災タイムライン

〇〇自主防災会

この地域では、大雨が降った際に、

土石流が崩れ 洪水 たため池決壊

が発生する危険があります。

災害が起こる可能性が高い時には、
ご近所で声を掛けあって
早め早めに避難する
必要があります。

ここが大事！ 明るいうちに 家族やご近所と声をかけあって避難

特に、高齢者等には警戒レベル3で声をかけを

～避難訓練などの際に、この用紙を活用してください～

避難する際の声掛け先

氏名 向かいのおじいさん 連絡方法 訪問

氏名 隣町のおばあさん 連絡方法 電話

↑ 個人の避難行動

↑ 住民相互の声掛け



【スターリンクの導入】

- 大規模災害時における孤立集落との通信手段の確保に向け、衛星ネットワークを活用した通信サービス(スターリンク)を導入し、市町と連携した訓練を実施



【ドローンの活用】

- 民間ドローンを活用した孤立集落への支援物資等の輸送体制の構築に向け、市町や事業者と連携した実証実験を実施



【広島県地震被害想定の改定】

(これまでの経緯)

平成 8年 阪神大震災を受けて策定

平成25年 東日本大震災を踏まえて2回目 の改定(直近の改訂)

(被害想定の内容)

- ・ 対象は南海トラフ巨大地震、県内活断層等
- ・ 震度分布、津波浸水想定を作成し、
人的・建物・インフラの被害量等を算出

南海トラフ巨大地震により想定される主な被害

死者	負傷者	全壊棟数	半壊棟数	経済被害
14,759人	22,220人	69,210棟	200,572棟	126,507億円

現在、改訂中

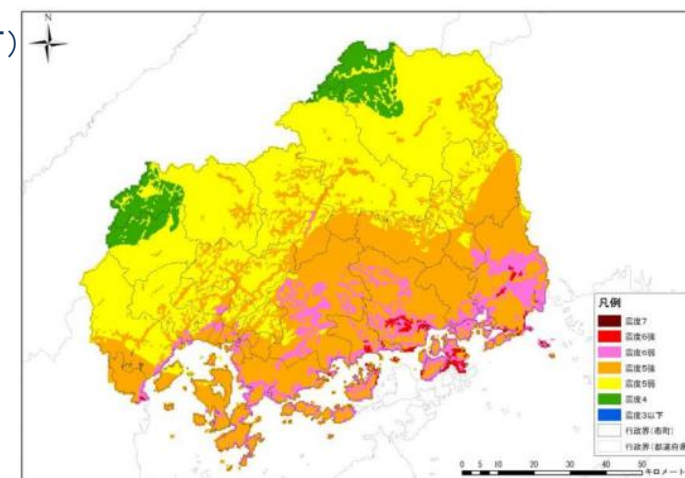
(今回の改定理由)

- ・ 国が南海トラフ地震の被害想定を見直し、新たな算定手法等が提示
- ・ 県内に被害をもたらすおそれのある活断層について、国が評価を見直し

(上記以外の改定内容)

- ・ 最新の統計資料や測量結果を利用
- ・ 堤防の耐震性能評価を反映 など

南海トラフ巨大地震の想定震度分布



【防災人材の確保・育成】

- ・ 県・市町共同で防災人材を確保・育成し、県・市町全体で持続的に、高いレベルで災害対応が行える体制の構築を目指して、令和7年3月に「県・市町防災人材協議会」を設置

（事業の内容）

- 県・市町共同で以下の事業を実施
 - ・ 研修・訓練の企画・実施
 - ・ 大規模災害発生時の応援体制の強化
 - ・ その他目的を達成するための事業

県・市町防災人材協議会

運営会議（県・市町の防災・人事担当部署）

研修・訓練等事業

相互応援体制構築事業

その他目的を達成するための事業

《研修・訓練の様子》

